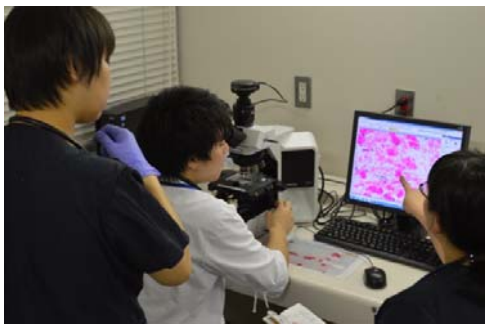
平成29年度
臨床研修プログラム



優しさと信頼のある卓越した臨床医の育成





岩手県立大船渡病院

診療科紹介・研修目的など

診療科：泌尿器科

泌尿器科では、尿路、生殖器、副腎の解剖や病態生理を理解し、根拠に基づいた、より専門性の高い医療を提供しなければならない。当科での研修の目標は、研修を通じて、診療対象となっている疾患が、泌尿器科医による専門的治療の必要な疾患かどうかを判断できるようになること、かつ基本的泌尿器科疾患に対しては、適切な処置が行えるようになることである。

診察する上での心構えとして、ほとんどの患者さんが泌尿器科での診察は恥ずかしいことと考えていることを念頭におく必要がある。患者さん、家族の方々の心情などに充分配慮した説明態度を身につける必要もある。同時に、他科医師およびコメディカルスタッフなどと連携をもちつつ診療を行う。

泌尿器科

研修目的

泌尿器科では、尿路、生殖器、副腎の解剖や病態生理を理解し、根拠に基づいた、より専門性の高い医療を提供しなければならない。当科での研修の目標は、研修を通じて、診療対象となっている疾患が、泌尿器科医による専門的治療の必要な疾患かどうかを判断できるようになること、かつ基本的泌尿器科疾患に対しては、適切な処置が行えるようになることである。

診察する上での心構えとして、ほとんどの患者さんが泌尿器科での診察は恥ずかしいことと考えていることを念頭におく必要がある。患者さん、家族の方々の心情などに充分配慮した説明態度を身につける必要もある。同時に、他科医師およびコメディカルスタッフなどと連携をもちつつ診療を行う。

研修目標

GIO(一般目標)

尿路・生殖器疾患の基本的知識を習得し、患者さん・家族の方々の心情・社会的環境・権利を充分に配慮し、チーム医療のもとに診療ができる。

SBOs(行動目標)

1．泌尿器系、男子生殖器系の解剖生理・主な疾患を述べることができる。
2．患者心理を理解しながら問診し、病歴を正確に作成できる。
3．尿路および精路（腹部・陰嚢部・前立腺など）について理学的所見がとれ異常を指導できる。
4．尿検査、血液検査などの検査所見を正しく評価できる。
5．以上をふまえ鑑別疾患を述べることができる。
6．画像検査を読影し診断できる。
　a．KUB・IVP・DIP・各種膀胱造影・尿道膀胱造影・US（・TRUS）が実施でき読影できる。
　b．CT・MRI・血管撮影が読影できる。
7．全身状態を考慮し、鑑別診断に必要な検査を選択できる。
8．尿路感染症・尿路結石症を診断し、救急処置を実施できる。
9．排尿障害（尿閉・尿失禁など）が診断でき、導尿ができる。
10．排尿障害（排尿困難・尿失禁など）に使用する主な薬剤の作用・副作用を述べることができる。
11．腎・尿路性器外傷の診断ができる。
12．小児急性陰嚢症の疑診ができる。

13. 膀胱尿道鏡検査で異常を指摘できる。
14. 尿道・腎瘻など留置カテーテルの管理ができる。
15. 肉眼的血尿について、出血部位を推定できる。
16. 腎前性・腎性・腎後性に分類し、急性腎不全を診断できる。
17. 腎後性腎不全の処置を述べることができる。
18. 透析療法の適応および血液透析・腹膜透析の選択について述べることができる。
19. 血液透析療法のブラッドアクセスについて述べることができる。
20. 腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣の癌について、治療法を述べることができる。
21. １９について手術・生検などを経験し、概要を述べることができる。
22. 勃起障害について経験し、治療について述べることができる。
23. 手術創のドレーンの管理ができる。
24. 性感染症予防・家族計画を指導できる。
25. 泌尿器科癌患者の緩和医療の実践ができる。

研修方略

LS	方法	該当SBOs	対象	場所	媒体	人的資源	時間	学習時期
1	SGD	1, 5～7, 10, 17～22, 24	指導医研修医	泌尿器科外来	プリント画像film	指導医研修医	1時間	毎週木曜日
2	病棟・外来研修	1～25		病棟外来	臨床研修実技	指導医	6時間	毎日

研修評価

SBOs	目的	対象	測定者	時期	方法
9,10,15,24	形成的	態度・知識	指導医	研修中	レポート
1～25					観察記録

目　標

ユニット	泌尿器科	
一般目標 GIO	尿路・生殖器疾患の基本的知識を習得し、患者さん・家族の方々の心情・社会的環境・権利を充分に配慮し、チーム医療のもとに診療ができる。	
行動目標	想起・解釈・問題解決・技能・態度	分類
SBO1		
SBO2	患者心理を理解しながら問診し、病歴を正確に作成できる。	
SBO3	3．尿路および精路（腹部・陰嚢部・前立腺など）について理学的所見がとれ異常を指導できる。	
SBO4	4．尿検査、血液検査などの検査所見を正しく評価できる。	
SBO5	5．以上をふまえ鑑別疾患を述べることができる。	
SBO6	6．画像検査を読影し診断できる。 a．KUB・IVP・DIP・各種膀胱造影・尿道膀胱造影・US（・TRUS）が実施でき読影できる。 b．CT・MRI・血管撮影が読影できる。	
SBO7	7．全身状態を考慮し、鑑別診断に必要な検査を選択できる。	
SBO8	8. 尿路感染症・尿路結石症を診断し、救急処置を実施できる。 9. 排尿障害（尿閉・尿失禁など）が診断でき、導尿ができる。	

	10. 排尿障害（排尿困難・尿失禁など）に使用する主な薬剤の作用・副作用を述べることができる。 11. 腎・尿路性器外傷の診断ができる。 12. 小児急性陰嚢症の疑診ができる。 13. 膀胱尿道鏡検査で異常を指摘できる。 14. 尿道・腎瘻など留置カテーテルの管理ができる。 15. 肉眼的血尿について、出血部位を推定できる。 16. 腎前性・腎性・腎後性に分類し、急性腎不全を診断できる。 17. 腎後性腎不全の処置を述べることができる。 18. 透析療法の適応および血液透析・腹膜透析の選択について述べることができる。 19. 血液透析療法のブラッドアクセスについて述べることができる。 20. 腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣の癌について、治療法を述べることができる。 21. １９について手術・生検などを経験し、概要を述べることができる。 22. 勃起障害について経験し、治療について述べることができる。 23. 手術創のドレーンの管理ができる。 24. 性感染症予防・家族計画を指導できる。 25. 泌尿器科癌患者の緩和医療の実践ができる。	

泌尿器科週間予定表

週間予定表	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟診療 外来診療	病棟診療 外来診療	病棟診療 外来診療	病棟診療 外来診療	病棟診療 外来診療
午後	手術 検査	検査	手術	検査	手術 検査

※入院・外来患者について、随時症例検討会を行っている。

研修内容と方法

1. 研修医は指導医とともに入院・外来患者を担当する。
2. 指導医の指導のもとに診察、検査、治療、説明等の業務に携わる。
3. 可能な限り全症例の手術に入る。
4. 症例検討会、研究会等には積極的に参加する。

指導責任者及び指導医

泌尿器科指導責任者：氏家隆

研修指導医：佐藤健介

研修方略　診療科：＿＿＿＿＿＿＿＿

LS	該当 SBO	方法	研修時期	研修場所	時間	媒体	指導･協力者	予算(円)
1								
2								
3								
4								
5								

研修評価　診療科:

SBO	目的	対象領域	測定者	時期	方法
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

研修スケジュール　診療科：＿＿＿＿＿＿

	月曜日	火曜日	木曜日	水曜日	金曜日
午前					
午後					

備考、その他：